

急性心筋梗塞の治療のために入院経験のある患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

岩手医科大学内科学講座循環器内科学分野では、上記の病気で入院された方の診療情報(カルテ情報)及び検査情報を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については細心の注意を払って取扱います。

本研究への参加を望まれない患者さんの診療情報(カルテ情報)及び検査情報は削除し使用しませんので、その旨【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

なお、情報の解析が進んでいくと削除できない場合がありますが、その段階では氏名、生年月日、住所、電話番号の個人情報削除され、個人が識別できないよう厳重に管理されています。

【研究課題名】

急性心筋梗塞に合併する不整脈の発生率と院内死亡リスクおよび経皮的冠動脈形成術との関連性に対する後ろ向き症例登録研究

【主任研究者】

岩手医科大学内科学講座 循環器内科分野 助教 新山 正展

【研究の目的】

心房細動は、急性心筋梗塞に合併する不整脈の一つです。急性心筋梗塞後、新たに心房細動が発症した患者様は、予後が悪いことが知られています。また、急性心筋梗塞の患者様の多くに、緊急的に経皮的冠動脈形成術が施行されています。これまで本邦における調査はいくつかありますが、急性心筋梗塞後の経皮的冠動脈形成術が新たな心房細動の発症にどう影響するかについては明らかになっていません。急性心筋梗塞を発症した患者様を後ろ向きに登録し、経皮的冠動脈形成術と新たな心房細動の発症の関連性について検討することを目的とした研究です。

【対象となる方】

平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日までに急性心筋梗塞と診断され、入院加療を行った患者様

【使用する診療情報】

年齢、性別、冠危険因子の有無、心房細動の既往、新たな心房細動の発症の有無、入院日、自覚症状の有無とその詳細 身長、体重、入院時バイタル（血圧、脈拍、体温）、入院時心電図、緊急もしくは待機の心臓カテーテルの所見、経皮的冠動脈形成術の所見とその結果 急性期と慢性期の心エコー所見 採血結果、治療方法、院内死亡、死亡日時、死亡の原因、再発の有無など。

【研究期間】

平成 30 年 6 月 7 日 ～ 平成 32 年 3 月 31 日

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、ご住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用致します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表しません。

【情報の保管場所】

本研究で得られた情報は岩手医科大学附属循環器医療センターで適切に保管されます。

【問い合わせ先】

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

岩手医科大学内科学講座 循環器内科分野

担当医師：新山 正展

電話番号：019-651-5111（内線：7322） Fax 番号：019-907-4228